

～自然環境を考える～

# ロコアース

## 石灰系固化材

これからの自然環境を守り続ける為に。

様々な土に対して「石灰系固化材」を使用する事は、【効率良い土質改良】を【少ない添加量】で行う事が出来ます。様々な土をリサイクルして使うという事は、現在の限りある資源を大切に、これからの自然環境を守り続けていきます。

### ◎適正及び用途

#### 【高含水の粘性土・泥土・有機質土】

- 軟弱土改良 道路工事 建物の基礎工事 残土リサイクルにも有効です。
- 冬場などの気温の低い時期にも有効に働きます。

#### ※ 石灰系固化材による土質改良の効果

| 反応          | 特徴                                                                                                                                                                                  |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 石灰水和反応      | 生石灰と土中の水分が反応し、土中含水分を下げます。<br>$\text{CaO} + \text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{Ca(OH)}_2$                                                                                          |
| イオン交換反応     | 土粒子の団粒化により、PI(塑性指数)を低下させます。                                                                                                                                                         |
| エトリンガイト生成反応 | 針状結晶構成により、固化させます。<br>$\text{Ca(OH)}_2 + \text{Al}_2\text{O}_3 + \text{CaSO}_4 \rightarrow \text{エトリンガイト}$                                                                           |
| ポゾラン硬化反応    | ポゾラン( $\text{SiO}_2$ と $\text{Al}_2\text{O}_3$ )が石灰系固化材中の石灰と反応し、土粒子を団結化します。<br>$\text{Ca(OH)}_2 + \text{SiO}_2, \text{Al}_2\text{O}_3 \rightarrow \text{けい酸カルシウム水和物、アルミン酸カルシウム水和物}$ |
| 石灰の炭酸化反応    | 石灰が炭酸化し炭酸カルシウムが生成される為、団結化します。<br>$\text{Ca(OH)}_2 + \text{CO}_2 \rightarrow \text{CaCO}_3$                                                                                          |

近藤石灰工業株式会社は、石灰石を原料とした製品に携わるメーカーです。



近藤石灰工業株式会社

Kondo lime co.,ltd

<http://www.kondo-lime.co.jp>





# 取扱上の注意点

## ● 荷姿について

- ・フレコンバック・バラの2種類となります。

## ● 貯蔵について

- ・貯蔵は、水分や湿気に御注意下さい。
- ・パレット等の上に置き、地面に直接置かないようにして下さい。
- ・降雨が予想される場合や多湿の場合は、事前にビニールシート等で覆って下さい。

## ● 施工時の留意点について

### ① 散布

- ・散布の際は、飛散に御注意下さい。
- ・飛散が問題となる可能性がある場合は、低い位置での排出を心掛けて下さい。
- ・使用量を正確且つ均一に散布する事が、施工品質上重要となります。

### ② 混合

- ・石灰系固化材と対象土の混合は、改良の効果に大きな影響を与えるので留意が必要です。
- ・混合については、土質や施工機械等の条件により大きく変わりますので、現場条件にあった施工を行う様にして下さい。

### ③ フレコンバックの取扱

- ・フレコンバック重量物用容器の為、安全管理に十分留意し作業を行って下さい。
- ・工事現場で不要となったフレコンバックは、産業廃棄物に該当します。

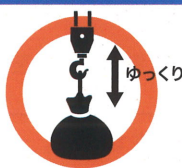
## ● 安全衛生上について

- ・安全データシート（SDS）を使用前に必ずお読みください。

### 1.吊上げる場合



■吊ロープのフックを正しく掛け、方づりはやめてください。



■急な吊上げ、吊おろしは、しないでください。



■横びきはしないでください。

### 2.排出する場合



■吊上げたフレコンの下に入らないでください。



■発塵防止の為できるだけ低い位置で排出してください。



■内容物は残留しないよう全量排出してください。

### 3.保管する場合



■ビニールシート等で覆ってロープなどで固定してください。



■仮貯蔵の際、水が浸入しないようにして貯蔵してください。

